

# 『大上正美先生傘寿記念 三国志論集』 発刊のお知らせ

## 目 次

- 渡邊 義浩 諸葛亮の軍事思想  
柳川 順子 曹氏兄弟と魏王朝  
初海 正明 阮籍「詠懐詩」における「自然」  
——『老子』における「自然」を通じて——  
鈴木 崇義 成公綏の「天地賦」について  
——魏晉における辞賦文学の側面から——  
牧角 悦子 何劭と張華——暮春をめぐる贈答詩——  
稀代 麻也子 沈約『宋書』における二人の文帝——劉義隆と曹丕——  
安藤 信廣 庾信の賦の時間表現と語り  
——「邛竹杖賦」の複数の語り手——  
山崎 藍 顔之推「稽聖賦」小考  
矢嶋 美都子 樂府題の「銅雀妓」「銅雀台」に関する一考察  
——銅雀の妓の悲しみを中心に——  
福山 泰男 関羽と報恩  
——『至治新刊全相平話三国志』の「滑梁路」をめぐる——  
大村 和人 明代の西湖における「洛神賦」  
——袁宏道の「西湖」其一をめぐる——  
中川 諭 張穎傑氏所蔵『三国英雄志伝』について  
下定 雅弘 『三国志演義』の曹操——その尽きせぬ魅力——  
李 満紅 奈良時代前期の日本文学における中国六朝文学の受容  
——「型」の意識を中心に——  
吉森 佳奈子 漢字世界のなかの『源氏物語』注釈

\* \* \*

大上正美先生 略年譜・著作目録

二〇〇六年七月の発足以来、長らく三国志学会の副会長をつとめられた大上正美先生が、傘寿を迎えられました。本論集は、それを記念して、先生の人と学問にそれぞれの形で関わりを持ち、大きな刺激を受けた後学の者たちが、三国志に関わる論考を執筆して成りました。大上正美先生は、中国文学に広く通じられ、幾多のご研究がありますが、なかでも、三国時代の後期に現れた阮籍と嵇康に深く傾倒されました。京都大学に提出された学位論文に基づく『阮籍・嵇康の文学』、また昨年おまとめになられた『嵇康の方法——文学としての「論」』には、先生の哲学的な文学論が収められています。先生は、自らの研究態度を「螺旋階段を降りていくよう」に思索を深めると譬えられ、「固有の他者」と対峙されることを通じて、議論を展開されています。その文章は難解をもって知られ、何度も読み返すことでその複雑な思想を理解できる喜びを読者に与えられます。(あとがき より)

二〇二三年九月三日発行 発行者・編者 三国志学会 発売 汲古書院

**定価 8,800 円のところ、三国志学会会員には 4,400 円 (税込) で頒布します。**

ご希望の方は、別紙「論集ご購入の方法」をご覧ください。

新刊『大上正美先生傘寿記念 三国志論集』ご購入希望の方は、  
会費（一般会員2,000円、役員4,000円）に、書籍代4,400円（税込）を加算してお支払い下さい

—同時購入による特別割引のご案内—

『大上正美先生傘寿記念 三国志論集』ご購入者限定で、既刊の論集を値引販売いたします

**① 『狩野直禎先生米寿記念 三国志論集』**（2016年、A5・454頁） **8,800円→1,700円**

沈 伯 俊 …… 明君か？ 梟雄か？——『三国志演義』の劉備像——（伊藤晋太郎・倉持リツコ訳）  
 大上 正美 …… 嵇康「釈私論」における「理」と「志」  
 堀池 信夫 …… 王弼再考——「亡」と「非存」——  
 石井 仁 …… 漢魏における公府・幕府の発達  
 小林 春樹 …… 『漢書』『五行志』における〔董仲舒観〕——「高廟園災対」を中心として——  
 牧角 悦子 …… 曹操と楽府——「新声」「新詩」の語をめぐる——  
 和久 希 …… 建安文質論考——阮瑀・応瑒の「文質論」とその周辺——  
 高橋 康浩 …… 榮榮たる呉質  
 柳川 順子 …… 『魏略』の撰者、魚豢の思想  
 渡邊 義浩 …… 「春秋左氏傳序」と「史」の宣揚  
 大村 和人 …… あざわらわれた洛神——南朝陳・顧野王の「豔歌行」をめぐる——  
 矢田 博士 …… 唐庚の『三国雑事』について  
 中川 論 …… 『李卓吾先生批評三国志真本』について  
 仙石 知子 …… 毛宗崗本『三国志演義』における劉備の仁  
 伊藤晋太郎 …… 関帝の肖像について  
 長尾 直茂 …… 清原聖賢の中国通俗小説受容——『蒙求聴塵』を題材として——

**② 『狩野直禎先生追悼 三国志論集』**（2019年、A5・388頁） **8,800円→1,900円**

梁 満 倉 …… 軍師中郎将諸葛亮の荊州時代  
 大上 正美 …… 阮籍と陳泰—「詠懷」其二十一を読む  
 石井 仁 …… 宋文帝の即位とその「代邸の舊」—南朝の都督制と皇弟皇子の出鎮—  
 牧角 悦子 …… 曹操と楽府（二）—「歌以言志」「歌以詠志」の意味するもの—  
 稀代麻也子 …… 「献詩并疏」の曹植  
 柳川 順子 …… 晋樂所奏「怨詩行」考—曹植に捧げられた鎮魂歌—  
 渡邊 義浩 …… 習鑿齒の『漢晋春秋』における「正」と「統」  
 安藤 信廣 …… 徐陵の文学について  
 伊藤晋太郎 …… 洪邁と関帝信仰——『容齋四筆』巻八「寿亭侯印」を手がかりに—  
 辛 賢 …… 蔡沈『洪範皇極内篇』の八十一章—『太玄』との関わりから—  
 後藤 裕也 …… 元雜劇「兩軍師隔江闘智」と孫夫人  
 中川 論 …… 遺香堂本『三国志』について  
 大村 和人 …… 大沼枕山の文学世界における曹植「洛神賦」  
 二階堂善弘 …… 東南アジアの関帝廟

【金額例：一般会員】	会費 (一般会員)	【新刊】 大上論集	①米寿論集	②追悼論集	お支払金額
・新刊のみ	2,000	4,400			6,400
・新刊+既刊1冊①	2,000	4,400	1,700		8,100
・新刊+既刊1冊②	2,000	4,400		1,900	8,300
・新刊+既刊2冊①②	2,000	4,400	1,700	1,900	10,000

【受注期間】 2023年10月6日（金）まで（在庫切れの場合は先着順とし、ご返金します）

【発送時期】 2023年10月中をめどに、発送作業を行います

以上